

【NEWS RELEASE】

2021年10月15日

SMBC日興証券株式会社

住友三井オートサービス株式会社のサステナビリティボンド引受けのお知らせ

SMBC日興証券株式会社は、この度、住友三井オートサービス株式会社(代表取締役社長:露口 章、本社所在地:東京都新宿区、以下「SMAS」)が発行するサステナビリティボンド(以下「本サステナビリティボンド」)の引受けにおいて、事務主幹事及びサステナビリティボンド・ストラクチャリング・エージェント^{*1}を務めましたのでお知らせいたします。

SMAS は、「お客さまに満足と感動を提供し続けることで、クルマ社会の発展と地球環境の向上に貢献」することを経営理念の Vision(目指すべき企業像)に掲げ、クルマそのものが地球環境に与える影響の抑制や交通事故の無い安心・安全な社会の実現を目指しています。さらに、2021 年度からの事業計画「SMAS Evolution 2021 ∞」では、サステナブル経営への基盤づくりを戦略のひとつとして取り入れ、実践しています。今般、その取り組みの一環として「環境配慮型車両の普及促進事業(グリーンプロジェクト)」または「交通事故削減サポート事業(ソーシャルプロジェクト)」を資金使途とする本サステナビリティボンドを発行します。

グリーンプロジェクトでは、グリーン適格基準を満たす環境性能の高い車両の新規購入を通じて CO2 の削減に貢献し、「脱炭素・循環型社会」を目指します。また、ソーシャルプロジェクトでは、次世代テレマティクスサービス^{*2}「SMAS-Smart Connect」に用いる高機能車載器をソーシャル適格として、その導入を促進し、車載器が取得したデータを活かした様々な交通事故削減ソリューションを提供することを通じて、「人・モノの移動に関する安心・安全な社会の実現」を目指します。

当社では、金融・資本市場におけるビジネスを通じた環境・社会課題の解決のため、専門部署である「サステナブル・ファイナンス部」^{*3}を設置し、ESG の推進に積極的に取り組んでおります。この

度の引受けは、当社におけるサステナビリティボンド及びサステナブルファイナンスに係る知見を示すと同時に、日本における ESG 投資、ESG をテーマとした商品の更なる拡大に繋がるものと考えております。また、本サステナビリティボンドの引受けを通じて、当社は SDGs の掲げる「すべての人に健康と福祉を」「産業と技術革新の基盤をつくろう」「住み続けられるまちづくりを」及び「気候変動に具体的な対策を」の目標達成に貢献していきます。

いっしょに、明日のこと。
Share the Future

- ※1 サステナビリティボンドのフレームワークの策定及びセカンドパーティー・オピニオン取得の助言等を通じて、サステナビリティボンドの発行支援を行う者。
- ※2 テレコミュニケーション(Telecommunication=通信)とインフォマティクス(Informatics=情報工学)から作られた造語で、移動体に携帯電話などの移動体通信システムを利用してサービスを提供することの総称。
- ※3 サステナブルファイナンスに関するカバレッジ支援業務の強化を目的とし、2021年9月の機構改革にてSDGsファイナンス室をサステナブル・ファイナンス部に改組。

【今回発行される住友三井オートサービス株式会社第7回無担保社債(社債間限定同順位特約付)(サステナビリティボンド)の概要】

名称	住友三井オートサービス株式会社第7回無担保社債 (社債間限定同順位特約付)(サステナビリティボンド)
年限	5年
利率	0.140%
発行額	100億円
条件決定日	2021年10月15日
払込日	2021年10月22日
償還日	2026年10月22日
取得格付	AA-(JCR)/A(R&I)
サステナビリティボンド・ ストラクチャリング・ エージェント	SMBC日興証券株式会社

以上